



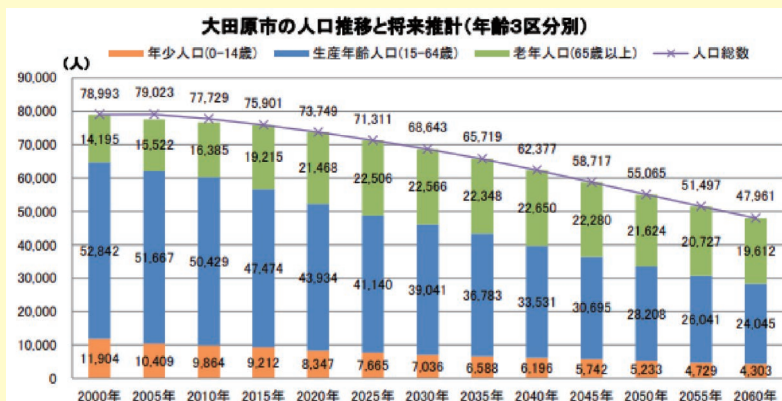
10年、20年先の地域は大丈夫？

～子どもたちが将来安心して生活できる地域を～

人口が少なくなるとどんな影響が出るの？

大田原市の人口は2020年に約7万3千人ですが、10年後には5千人、20年後には約1万1千人少なくなると予測されています。

人口が少なくなると、空き家、荒れ地の増加、生活関連のサービス(小売、飲食、医療機関等)の縮小、人とのつながりの減少など、私たちの生活に様々な影響を及ぼします。



地域のつながりがなくなると困ることがあるの？

今までの地域では、ご近所同士が顔の見える関係で、何かあれば気にかけていました。しかし、今後地域のつながりがなくなると、「お隣さんの顔も名前も知らない」「何かあっても、頼れる人が近所にいない」「孤立してしまう」という地域になってしまう可能性があります。

どこか遠くの地域の問題と思うかもしれませんが、実際に私たちの身近な地域でも起こり始めています。



他人ごとにしてしまうのではなく、「自分たちのこと」「自分たちの地域のこと」として捉え、これからの社会を支えていく子どもたちのためにも、みんなで考えてみませんか？

地域の支え合いの仕組みづくり

～生活支援体制整備事業～

大田原市では、「住み慣れた地域の中でいつまでもいきいきと安心して暮らせるまち」を目指し、**ささえ愛おおたわら助け合い事業(生活支援体制整備事業)**を進めています。市内12地区(日常生活圏域)を単位に、身近な地域での助け合いの仕組みを作るため、話し合いの場である「協議体」が設置され、地域の課題や情報をもちより、地域住民同士で活発に話し合っています。

自分の地域を見つめ直し、もともとある地域のつながりや活動を生かしたり、「これはどうにかしなければならない!」と同じ意識をもった人達で課題解決のために新たな活動を始めたり、それぞれの地域に合った活動を進めています。

進んでいます!



佐久山地区 / 外出支援事業



紫塚地区 / 地域支え合いマップづくり



一人ひとりが
地域を良くするための主役です!

YOUはどうして地域に関心を?

實さんが地域に関心をもちたきっかけを教えてください。

60歳の定年を前に企業を早期退職し、セカンドライフをどうするか考えていた時、これからの自分にも関係する、高齢者の課題に興味をもちました。

ヘルパーの資格を取ったり、市社協のボランティアカフェに参加したりする中で、同年代で同じような思いをもつ仲間と出会い、意気投合し、地域でのボランティアの世界にはまっていきました。

そして、地域にかかわってみると、今まで気づかなかったことが見えてきたり、様々な人々との出会いや交流があったり、ボランティアというものが、自分にとっての新たな居場所となっていきました。

ボランティアで
充実した
セカンドライフを

どんな活動をして
いますか?

地域の中で、高齢者も子どもも若者も誰もが気軽に集まり、お茶飲みやおしゃべりができる居場所「**いってみっけ**」の活動をはじめ、様々なことに取り組んでいます。

活動する中で、生活に困っている方が地域にたくさんいることを知り、余っている食料品を必要とする人に届ける「**フードバンク**」という活動を仲間たちと始めました。

みのる
實

寿夫さん

皆さんに伝えたいこと

定年を迎えて一息ついて自分のやりたいことを楽しんだら、今度は自分たちが生活していく地域のために、一緒に活動してみませんか?

60年近く生きていれば、一人ひとつは必ず地域に役立つもの(知識や技術)をもっています。

私たちのもつ力を、自分たちのために、子や孫の世代が安心して生活していける地域にするために、思う存分発揮していきましょう!!



「いってみっけ」での活動の一幕



みなさんの声を聞かせてください!

例えば💡

地域の皆さんからいただいた声、意見を参考に、より良い地域づくりを進めていきます。
お気軽にご連絡ください。

- 私たちの地域にこんな〇〇(いいところ、課題だと思ふところ等)があるよ。
- こんなことで生きづらさを感じています。
- 〇〇みたいな活動なら、参加してみたいな。

※左下のQRコードを読み取り、必要事項を入力の上、市社会福祉協議会までみなさんの声を送ってください。



大田原市
社会福祉協議会

社会福祉法人 大田原市社会福祉協議会

【本 所】

本町1-3-1 市役所A別館1階
TEL : 23-1130
FAX : 23-1138

【湯津上支所】

佐良土853
TEL : 98-3715
FAX : 98-8011

【黒羽支所】

黒羽田町848
TEL : 54-1849
FAX : 54-2745